

新任教授紹介

地域に求められる救急医療と、若手の思いを形にする救急医学の提供

救急医学講座 教授 佐藤格夫

教授に就任し、まず考えたことは、当院と愛媛県の救急医療体制の強化です。今まで行ってきた重症患者に対する受け入れ体制の強化とともに、当院近隣の救急患者の受入れに関してもフォーカスし、救急医療体制を磐石にしたいと考えています。ドクターヘリ事業は大きな事故もなく2年半が経過しました。県全体と地域の救急医療体制をサポートするため、ドクターヘリの症例を通じて、消防署や各基幹病院と意見交換ができる場と関係も構築していきます。ドクターヘリの出動は年間300件弱ですが、全国平均の500件ほどに増えてよいと考えます。もう一つ、大切な取り組みは救急医療体制を継続・発展するための若者の育成です。救急医療は、救急科だけのことではなく、どの医療分野でも患者さんの急変は想定され、医療者ならば不可欠の知識・スキルです。若手医師や学生が、自分の理想の医師像を掲げ、それを叶えるための研修と環境を一緒に作り上げていきたいと考えています。若者の夢とともに追い、その中から、一緒に救急医療を担ってくれる医師・学生が現れることを待っています。誰も挑戦したことのないことでも一緒に頑張りましょう！



PROFILE

さとうのりお◎1995年愛媛大学医学部卒業後、同年日本医科大学救急医学教室、2011年京都大学初期診療・救急科の講師・准教授、2017年愛媛大学救急航空医療学の教授などを経て、2019年4月から現職。専門は救急医学・集中治療。趣味は若者への無償の愛（継続中）。